地域包括ケア病棟入院料1・2・3・4 (いずれかに〇)の 施設基準に係る届出書添付書類

		病 棟 名				
		病床数			床	
当該病棟 〔一般 · 療養〕		看護職員配置加算に係る届出				
		看護補助者配置加算に係る届出				
		看護職員夜間配置加算に係る届出				
		「注2」に規定する点数の届出				
뇔	4該病棟専任の在宅	復帰支援担当者氏名		(専任となった年月]: 年 月)	
当該病棟専従の理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士			(いずれかに〇) 理 学 療 法 士 作 業 療 法 士 言 語 聴 覚 士	(専従となっ	oた年月: 年 月)	
	当該病棟の病室部分の面積			(1床当たり面	m [*] 積 m [*])	
	① 当該病棟の入院患者延べ数(算出期間(1か月) 年 月) (看護職員夜間配置加算届出医療機関のみ)				名	
	② ①のうち認知症等の患者の延べ数 (看護職員夜間配置加算届出医療機関のみ)				名	
当該病棟	認知症等の患者の割合(②/①) (看護職員夜間配置加算届出医療機関のみ)				%	
		における退院患者数 年 月 日~ 年 月 日)			名	
	内訳	(1) 在宅(自宅及び居住系介護施設等)			名	
の状況		(2) 介護老人保健施設			名	
<i>)</i> ,,		(3) 有床診療所			名	
		(4) うち、別添2の第3の5の(1)のイ の(イ)に該当する病床			名	
	小 またく日間	(5) (1) ~ (4) を除く病院			名	
	④ 直近6月間における転棟患者数 (算出期間 年 月 日~ 年 月 日)				名	
	在宅等へ退出した患者の割合 ((1)+(4))/(③+④)				%	
状況 医療機関の	│ □ 在宅療養後方支援病院の届出を行っており、在宅患者の直近1年間の受入実績が3件以上					
廊下		い場合における大規模改修等の予定	着工予定 完成予定	年	月月	

入院料1・3に係る要件	当該病棟の状況	⑤直近3月間における当該病棟の入院患者延べ数 (算出期間 年 月 日~ 年 月 日)⑥⑤のうち自宅又は有料老人ホーム等から入棟した患者数	名名
		自宅等から入棟した患者の占める割合 (⑥/⑤)	%
		直近3月間における自宅等からの緊急入院患 者の受入患者数	名
	医療機関の状況(いずれか2つ)	□ 直近3月間における在宅患者訪問診療料の 算定回数	回
		直近3月間における当該医療機関での在宅 患者訪問看護・指導料、同一建物居住者訪問看護・指導料又は精神科訪問看護・指導 □ 料Iの算定回数	回
		直近3月間における同一敷地内の訪問看護 ステーションでの訪問看護基本療養費又は 精神科訪問看護基本療養費の算定回数	回
		□ 直近3月間における開放型病院共同指導料 (I)又は(I)の算定回数	回
		□ 訪問介護、訪問看護、訪問リハビリテーシ 問リハビリテーションを提供している	
	指係取 針るり	□ 適切な看取りに対する指針を保険医療機関	として定めている。

[記載上の注意]

- 1 届出に係る病棟ごとに記入すること。
- 2 届出に係る病棟ごとに様式9を記載し添付すること。
- 3 理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士については、週3日以上常態として勤務しており、かつ, 所定労働時間が週24時間以上の勤務を行っている非常勤理学療法士、非常勤作業療法士又は非常勤言語聴覚士 を組み合わせて配置している場合には、当該従事者の氏名の後に「(常勤換算)」と記入すること。
- 4 データ提出加算及び疾患別リハビリテーションの届出の写しを添付すること。
- 5 当該病棟の配置図及び平面図(面積等がわかるもの)を添付すること。
- 6 医療機関の状況については、各区分に該当することがわかる書類を添付すること。
- 7 注2に規定する点数に係る病室は、別紙2に掲げる地域に所在する保険医療機関(特定機能病院、許可病床数が400床以上の病院、DPC対象病院及び一般病棟入院基本料に係る届出において急性期一般入院料1のみを届け出ている病院を除く)において、届出が可能である。
- 8 看護職員配置加算、看護補助者配置加算又は看護職員夜間配置加算を届け出る場合は様式13の3を添付すること。
- 9 看取りに対する指針に関する資料については、添付不要である。